

平成23年度日本植物病理学会関東部会プログラム

平成23年9月15日(木)・16日(金)
文部科学省研究交流センター(茨城県つくば市)
国際会議場

講演10分(予鈴8分), 討論2分

9月15日(木)午前

9:55 開会挨拶(関東部会長:阿久津克己)

座長:月星隆雄

- 1 10:00 ○佐藤 衛¹・築尾嘉章¹・伊藤陽子²・松下陽介¹(¹花き研・²近農研綾部)
キク立枯病(病原追加)およびリトウワタ疫病(病原追加)
- 2 10:12 ○植松清次¹・鐘ヶ江良彦¹・景山幸二²(¹千葉農林総研・²岐阜大流域圏セ)
*Phytophthora palmivora*によるシンビジウム疫病(病原菌追加)
- 3 10:24 ○窪田昌春(野菜茶研)
栽培中のオクラに発生した灰色かび病と菌核病(新称)

座長:濱本 宏

- 4 10:36 ○鐘ヶ江良彦¹・田中(三輪)千華²・植松清次²・柴田忠裕²・景山幸二³(¹千葉農林総研暖地・²千葉農林総研・³岐阜大流域圏セ)
ローソンヒノキ疫病菌の同定
- 5 10:48 故牛山欽司・○石井英夫¹・趙 鵬²・岸 國平³・古川聡子⁴・西村久美子¹・加藤 寛¹・兼松聡子⁵・柿寫 真²(¹農環研・²筑波大院生命環境・³農業技術協会・⁴首都大生命・⁵果樹研リンゴ)
わが国に発生した *Venturia inaequalis* によるピラカンサ黒星病(新称)
- 6 11:00 ○佐藤豊三¹・埋橋志穂美²(¹生物研・²カナダAAFC)
*Wilsoniana bliti*によるホナガイヌビユ白さび病および *W. portulacae*によるスベリヒユ白さび病(新称)

座長:小河原孝司

- 7 11:12 ○森島正二¹・和氣貴光¹・山城 都¹・福田 充¹・小林 誠¹・石川成寿¹・鈴木 健²(¹栃木農試・²千葉農林総研)
PCR法によるイチゴ炭疽病菌検出技術のイチゴ苗生産圃場での実証
- 8 11:24 ○鈴木 健・塩田あづさ・金子洋平・吉田菜々子(千葉農林総研)
PCRによるナン萎縮病菌 *Fomitiporia* sp. の罹病樹からの検出

- 9 11:36 ○棚橋 恵¹・佐藤秀明¹・尾谷 浩²(¹新潟農総研園芸研・²鳥取大農)
セイヨウナシ褐色斑点病の越冬伝染源としての枝病斑
-

＜昼休み＞ 11:48～13:30
関東部会役員会 (2階 第1会議室, 12:10～13:10)

9月15日(木)午後

特別講演 I

講演25分, 討議5分

座長：西尾 健

- 13:30 山次 康幸氏・清水 巧氏・難波 成任氏・日比 忠明氏 (東大院農)
タバコモザイクウイルスの複製・移行に関わるポジティブレギュレーター

特別講演 II

講演40分, 討議10分

座長：畔上耕児

- 14:00 對馬 誠也氏 (農環研)
イネもみ枯細菌病の生態と防除に関する研究
-

＜休憩＞ 14:50～15:00

座長：古谷綾子

- 10 15:00 ○井上康宏¹・鍛冶原寛²・前田征之³・野津あゆみ⁴・中保一浩¹(¹中央農研・²山口農
林総セ・³新潟農総研・⁴道総研花野セ)
土壌からの青枯病菌の高感度検出法
- 11 15:12 ○藤川貴史・岩波 徹 (農研機構果樹研)
カンキツグリーニング病原細菌16S rDNA配列に存在する特異領域に基づくPCRプライ
マー及びFISHプローブの設計と利用
- 12 15:24 ○加藤 寛¹・Richard Davis²・Malcolm W. Smith³・Matthew Weinnert⁴・岩波 徹¹(¹果
樹研・²Northern Australia Quarantine Strategy・³Bundaberg Research Station・
⁴Centre for Tropical Agriculture)
インドおよびフロリダで採取したカンキツグリーニング病原細菌ゲノムに見られた単
純繰り返し配列の多型とその近傍にみられた一塩基多型との比較
- 13 15:36 ○平川崇史¹・松浦貴之¹・上松 寛²・齋藤範彦¹(¹横浜植防・²中央農研)
イムノストリップキット及びLAMP法を用いた火傷病診断法の検討
- 14 15:48 ○滝波祐輔¹・高橋 厚²・石川一也¹・足立達司¹・三浦千裕¹・煉谷裕太朗¹・前島健作¹・難波成任^{1,3}(¹東大院農・²群馬県農政部・³東大植物病院)
葉化症状を示すアジサイより初めて検出されたファイトプラズマ種とその検出キット
の開発について
-

座長：藤川貴史

- 15 16:00 ○香西雄介^{1,2}・望月 進²・齋藤明広³・安藤昭一⁴・南 栄一^{1,2}・西澤洋子²(筑波大院生命・²生物研・³静岡理工科大理工・⁴千葉大院融合)
キトサン分解能を付与した形質転換イネの作出とそのいもち病抵抗性の解析
- 16 16:12 ○高野真由美・Md. Ashraful Haque・佐々木信光・丹生谷博(農工大遺伝子)
タバコ転写因子BBF1の一過的発現はウイルス抵抗性遺伝子Nの転写とTMVエリシターによる過敏感細胞死を促進させる
- 17 16:24 ○草間勝浩・浦田信明・盤指 豪・田中恒之・尾形信一・平塚和之(横浜国大院環境情報)
抵抗性誘導化合物の探索を目的としたジャスモン酸応答性VSP1遺伝子発現モニタリングの有用性
- 18 16:36 ○安井百合愛¹・小倉弘太郎¹・小倉里江子²・平塚和之¹(¹横浜国大院環境情報・²横浜国大VBL)
遺伝子銃法とアグロバクテリウム法を用いたサイレンシングサプレッサーの活性評価
-

17:30～19:30 懇親会(つくば国際会議場内 1F 「エスポワール」)

9月16日(金)午前

座長：宇佐見俊行

- 19 10:00 ○稲見圭悟^{1,2}・森田泰彰³・寺岡 徹¹・有江 力¹(¹農工大院農・²学振特別研究員PD・³高知農技セ)
近年高知県で発生しているトマト萎凋病菌レース3のタイプについて
- 20 10:12 ○金子洋平¹・中村 仁²・牛尾進吾¹(¹千葉農林総研・²農研機構果樹研)
ナシ萎縮病菌 *Fomitiporia* sp.におけるヘテロタリズム
- 21 10:24 ○荒添貴之¹・大里修一¹・有江 力²・米山勝美¹・桑田 茂¹(¹明治大農・²農工大農)
相同組換えマーカー系を用いたイネいもち病菌の相同組換え機構の解析
- 22 10:36 ○津留拓弥¹・井戸川洋輔¹・野原亮太¹・小塚玲子²・井村喜之¹・藤田佳克¹(¹日大生物資源・²千葉農林総研)
稲こじ病菌の分生子発芽に対する栄養素の影響
- 23 10:48 ○平野泰志・酒井和彦・野田 聡(埼玉農総研)
ナシ黒星病に対するDMI剤耐性遺伝子(CYP51)配列の解析
-

座長：小板橋基夫

- 24 11:00 ○岡部郁子¹・三木一嘉²・江原靖博³・平岡久明⁴・菅原幸哉¹・月星隆雄¹(¹畜産草地研・²長野県畜試・³長野県野花試・⁴FAMIC)
*Fusarium*属菌の自然感染と人為接種による飼料用トウモロコシ品種のフモニシン汚染への抵抗性評価
- 25 11:12 ○石川浩司・樋口泰浩・黒田智久・岩田大介(新潟農総研作物研)
ほ場におけるイネ墨黒穂病の発生程度が玄米汚損程度に及ぼす影響
- 26 11:24 ○加藤美紀¹・田中(三輪)千華²・大谷 徹¹(¹千葉農林総研暖地・²千葉農林総研病害虫防除課)
*Haematonectria ipomoeae*の接種と湛水管理によるガーベラ株枯病の再現
- 27 11:36 ○斉藤 梓・中島雅己・阿久津克己(茨城大農)
*Botrytis fabae*のソラマメ葉における病斑形成機構について
-

<昼休み> 11:48~13:30

9月16日(金)午後

座長：望月 進

- 28 13:30 ○草島美幸^{1,2}・平山潤太¹・安田美智子¹・篠崎 聡¹・仲下英雄^{1,2}(¹理研イノベーション・²東京農大生応化)
イネの誘導抵抗性に対する環境ストレスの影響の詳細な解析
- 29 13:42 ○小林光智衣¹・藤川貴史²・佐藤 衛¹・神頭武嗣³・山田 真⁴・石渡正紀⁴(¹農研機構花き研・²農研機構 果樹研・³兵庫県農技総セ・⁴パナソニック電気(株))
紫外光(UV-B)照射によるバラうどんこ病の発病抑制と防御関連遺伝子発現誘導
- 30 13:54 ○石原岳明・中保一浩(中央農研)
酵母抽出液処理したトマト根部における青枯病抵抗性関連遺伝子の発現解析
-

座長：青木一美

- 31 14:06 ○安部由香子¹・河原康二¹・對馬誠也^{1,2}・奥田誠一¹・根岸寛光¹・篠原弘亮¹(¹東京農大農, ²農環研)
*Herbaspirillum*属の各細菌種を用いたイネ育苗期における細菌病の発病抑制効果
- 32 14:18 ○加藤亮宏¹・岩崎昌美²・寺岡 徹^{1,2}・有江 力^{1,2}(¹農工大院連農・²農工大院農)
保存安定性に優れたイネばか苗用病生物防除資材の探索

- 33 14:30 ○望月真衣¹・山本祥子²・鈴木俊二¹(¹山梨大院ワイン研セ・²(株)アイエイアイ)
ブドウ晩腐病を標的とした*Bacillus amyloliquefaciens*による生物防除の可能性
- 34 14:42 ○鈴木達哉¹・塩田あづさ¹・金子洋平¹・鈴木 健¹・中村 仁²(¹千葉農林総研・²農研
機構果樹研)
温水点滴処理による土壌中の白紋羽病菌の殺菌に要する温度条件

座長：沼田慎一

- 35 14:54 ○白石拓也¹・星 秀男²・足立達司¹・石川一也¹・滝波祐輔¹・湊 菜未¹・小松 健¹・難
波成任^{1,3}(¹東大院農・²東京農総研・³東大植物病院)
クリスマスローズに発生した黒死病(新称)
- 36 15:06 ○長岡(中菌)栄子¹・中嶋香織²・上西啓資³・岩波 徹¹(¹果樹研・²三重農研・³三重農
普及セ)
カンキツ園周辺における温州萎縮ウイルスのヒメユズリハへの自然感染
- 37 15:18 ○白子幸男¹・松田英子¹・堀田治邦²・佐々木純²(¹東大アジア生資研・²道総研中央農
試)
北海道で発生したコムギ萎縮病の病原ウイルス *Soil-borne wheat mosaic virus* (コ
ムギ萎縮ウイルス, 新称)の遺伝子構造解析
- 38 15:30 ○志岐悠介・大石盛伝・小牟田健慈・平川崇史・白戸奈奈・牛久修一・古澤幹士(横
浜植防)
カーネーションからのRT-LAMP法による *Carnation ringspot virus* の検出
- 39 15:42 ○石川一也¹・永島 進²・澤村信生²・滝波祐輔¹・足立達司¹・前島健作¹・山本 淳²・
難波成任^{1,3}(¹東大院農・²島根農技セ・³東大植物病院)
わが国のイチジクにおいて初めて感染が確認された fig mosaic virus (FMV) (イチジ
クモザイクウイルス: 和名新称) 及び RT-LAMP 法による簡易迅速高感度検出キット
の開発

15:54 閉会挨拶 (関東部会長：阿久津克己)